



## 家づくりが育む建築への道のり | 旅は建築と自己修練の場

一級建築士事務所アトリエ4A代表 天野 彰

(第4回/全12回)

### 旅をし環境を変えて その地に身を置くことで自己を知る

半世紀以上も昔のかび臭い旅行体験を長々とお話しするつもりなどないが、旅をすることで近代建築発祥の疑問が少し解け、何よりも自身がおかれた立場を知り、人間形成に役立った気もする。国境を越えるたびに文化と民族を感じその地の人柄や生活も変わり“西欧の危うい”成り立ちも見えてくる。その伝統にこそ芸術運動と近代建築の葛藤もある。

### チボリ公園で初めて テーマパークの臨場感を体感する

欧州を旅するに従って、自身がよそ者の異邦人であることを思い知らされる。改めてわが文化を顧みることになる。近代建築のカタチを真似することではなくその成り立ちを学ぶこととなる。が、旅を続けるうちに旅費も尽き、フィルムも尽き、情景をスケッチブックに書き留めることになった。

旅で出会った若者たちに誘われチボリ公園を訪れ夜になっても明るいことに驚く。この晴れ晴れとした空気と愉しさは一体何だろう。ソ連経由で来たせいか、緯度のせいかな？ 至るところで流れる音楽とざわめきの演出が心を躍らせ不思議な臨場感に包まれる。この体感が後に大阪万博で生かされることになろうとは夢にも思わなかった。

この浮かれ気分の中で描いたスケッチを観光客に請われ、手放すことになった。喜ばれながらの思わぬ収入。以来多く人が訪れる各地の公園などでポストカードに絵を描きながら売ることになる。さらに送って喜ばれる絵はがきとは何かと筆とペンを駆使し日本人らしいスキルを研鑽しながら情景も探索する…まさに一石二鳥ならぬ“一筆二得”となる。この体験のちに建築士としての報酬を得る喜びとなった。

### その地の生活に身を置くと 過去も未来さえも見えて来る

はからずも欧州の貧乏旅行は始まり、数々の体験や事故にも遭遇しやっとの思いで口

ーマ・テルミニにたどり着く。それは列車ではなく、ましてオリエント急行でもない。ただひたすら歩いてヒッチハイクを重ねる旅だ。ツアーバスからの怒越しの景色ではなくその地で同じ空気を吸って一瞬でも暮らし、その微細な風の音や臭いそして肌触りを感じる。

各地の人々との触れ合いで生活文化が分かち合えて、ル・コルビュジエのユニテ・ダビタシオンやロンシャンの礼拝堂などを訪れると写真とは違った感動が起こる。計算された法則と機能の中に心に届け込む自由な生き方を感じさせる。のちに「住宅は住むための機械」\*などの発言の真意も容易に理解できた。

### 冒険は自身を強くし 生きる知恵も生まれる

北欧からコペンハーゲン、オランダからベルギーと乗せてもらった車が事故に遭い、はからずもその人の家で21歳を迎える。さらにドーバー海峡のヒッチポート?では荒天で遭難の危機、フランスとイギリスの“遠さ”を痛感する。「She Loves You ♪」が街のあちこちで流れるロンドンを離れてパリ。着いた日がパリ祭とポストカード大繁盛の幸運の豊かな宿となる。その後バルセロナに向かい真夜中に到

着、教会の墓壇を枕に野宿。翌朝の異様なエネルギーの中での目覚めは…まさかのサグラダファミリアの墓壇だった!その後ラテンの陽気に自身も同化して地中海沿いに車を取り継ぎマルセイユからそしてイタリアを縦断しローマに辿り着く。

### ローマ・テルミニは 終着駅ではなく日本に 繋がる出発駅だった!

どの街にも老人が多いことに驚く。公園やピアッツアのくつろぎは狭い城壁都市での彼らのリビングであることを実感。そこでのコミュニティこそ生きる必然性であることを知る。あまりにも長い西欧の歴史の伝統は、すべてが洗練されスマートでアールデコもモダニズムもその伝統を内包しつつ、日本の磁器、版面の画法や構法の思想と精神さえも素直に取り込み共存し、近代思想にそのまま浸透してきたこともよく解かる。西欧の生活は今のわが国とも通じていた。

国内の旅も古き暮らしの中に同様の発見があり、忙しい合間にも旅に出かけるようにしている。この無謀な旅の様々なエピソードは機会があればお伝えしたい。

\*「建築をめざして」(SD選書)、鹿島出版会(シャルル・エドワール・ジャンヌレこと、ル・コルビュジエ著:吉阪隆正氏訳)



ドイツ・ライン川沿いのブラウバッハ(Braubach)のマルクスブルク城(Marksburg)情景、12世紀建造、負け知らずの城(現世界遺産)売れ残った葉書スケッチの一枚(画:筆者19640622)



ドイツ・デュッセルドルフ・テッセンハウス(Thyssen haus) SOM設計の超高層(のちにミラノのピレリ、東京ミッドタウン、ドバイのブルジュ・ハリファなどを設計)(画:筆者19640625)

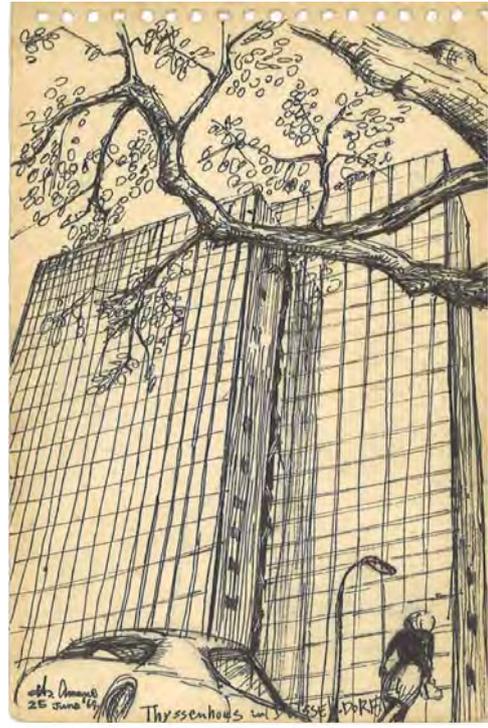


ローマ・テルミニ駅にやっとなり着いた!疲れた変な旅行者(筆者196408:旅人撮影送付)



①

① ドイツ・ライン川沿いのブラウバッハ (Braubach)のマルクスブルク城 (Marksburg)情景12世紀建造、負け知らずの城(現世界遺産)売れ残ったスケッチ(画:筆者19640622)



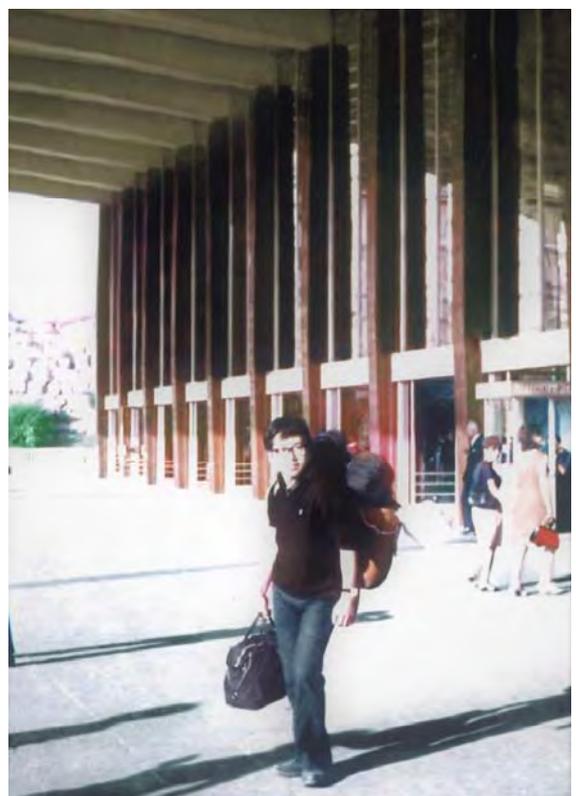
②

② ドイツ・デュッセルドルフ・テッセンハウス (Tessenhaus) SOM設計超高層(のちにミラノのピレリー、東京ミッドタウン、ドバイのブルジュ・ハリーフアなど) (画:筆者19640625)



③

③ パリ・ノートルダム寺院佇むこの頃はまだ余裕か? 筆者196407:旅人撮影



④

④ ローマ・テルミニ駅にやっと辿り着いた! 疲れた変な旅行者筆者196408

:旅人撮影